

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果

公表日：令和5年10月23日

放課後等デイサービスBall- Day

区分	チェック項目	現状評価	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
		職員による評価です	数字は左から順に はい・いいえ どちらともいえない・わからない コメントは原文そのまま掲載	保護者評価を踏まえ、 再度職員の話し合いにより設けた改善目標や今後の運営方針です	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動内容や子どもたちの状況に応じて、使い分けをしたり、静養スペースや相談スペースを開放したりするなど、臨機応変に対応している。	77%・0%・8%・15% 卓球が上手い子に教えてもらえるのも良い環境だと感じています。野球関連の事が出来たらもっと良いと本人が言っていました。	引き続き、構造化（時間や場所による使い分け）を心がけ、すべての子どもたちが活動しやすい環境整備に努めていきます。内容については、鋭意、検討します。
	2	職員の適切な配置	一昨年度の支援内容とその記録方法の見直し、日々の職員のうちあわせ等により、適材適所の配置ができるよう工夫をしてきた。昨年度の保護者評価を受けて、直接来所いただく以外にオンラインによる見学や気軽に来所しやすいよう月に一度のオープンデイを設け、職員の専門性を含む人となりを見ていただけるようにした。	46%・0%・39%・15% ・先生方がどのような専門性をお持ちなのか知らないため ・側から見ていて高橋先生が超多忙で大変そうだなと思います。仕方がない事ですが、どこの業界も同じですが、マンパワーって大切ですね。これからもよろしくお祈りします。 ・頑張っておられます。	・児童発達支援管理責任者および児童指導員の資格や経験などのプロフィールは、見学・契約時や新規雇用時にお伝えしています。指導員については人となりをお知らせしています。また、年に一度、保護者会のタイミングで取りまとめたものをお配りしています。新規雇用の場合も、採用しても必ず入職するとは限らないため、事前の公表ができず、タイムリーにお知らせができなことを申し訳なく思っています。 ・高橋（管理者）についてのお心遣いありがとうございます。事業所携帯および公式ラインで対応ができないとお伝えしている日は完全プライベートを楽しんでおります。その他、超多忙に見せかけているだけでですので、ご安心ください。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	昨年度と同じで、バリアフリー化については建物の構造上、限界があるため、見学時に説明するようにしている。構造化については、TEACCHの視点を取り入れ、時間や場所・ルールなどを視覚的に示し、明確化している。	92%・0%・0%・8% 特に不便さを訴えることはないです。	特に変わるものではなく、すべての子どもたちにとってわかりやすい環境整備に努めていきます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子どもたちの活動に合わせた生活空間の確保	暑さ対策に課題は残っている。換気を含むコロナ対策とのバランスを考えるとやむを得ない状況であり、引き続き、最善を尽くします。	84%・0%・8%・8% 「あそこから見る電車が良い」と絶賛しております。	引き続き、すべての子どもたちが過ごしやすい生活空間の整備に努めていきます。
業務改善	区分	チェック項目	現状評価	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			職員による評価です	数字は左から順に はい・いいえ どちらともいえない・わからない コメントは原文そのまま掲載	保護者評価を踏まえ、 再度職員の話し合いにより設けた改善目標や今後の運営方針です
	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	過去の活動・課題の振り返りをもとに、前例などにとられることなく、常に利用いただく子どもたちの最善の支援につながるよう、アイデア出しから始め、検討・情報共有をおこない、支援を実施している。その後の振り返りも必ずおこなっている。		職員間での情報の共有や理念・支援方針の統一ができることは当事業所の魅力であり、これからも大切にしていきたいことです。
2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は実施していない。		第三者による業務改善のためのアドバイスなどの必要性を必要に応じて検討します。	
3	職員の資質の向上をおこなうための研修機会の提供	職員全員で共有したい支援観や理論などは必要に応じて研修している。外部機関による研修は情報があれば提供をし、鋭意受講している。		最新の情報や、多様な視点の知識を取り入れるため、オンラインによるものも含め、必要に応じて、研修の機会を確保していきます。	
適切な支援の提供	区分	チェック項目	現状評価	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			職員による評価です	数字は左から順に はい・いいえ どちらともいえない・わからない コメントは原文そのまま掲載	保護者評価を踏まえ、 再度職員の話し合いにより設けた改善目標や今後の運営方針です
	1	アセスメントを適切におこない、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえでの放課後等デイサービス計画の作成		92%・0%・0%・8% サインが必要な書類がありましたら、ご連絡いただければと思います。電子化ですかね。	すでに多くの子どもたちに当事業所を利用しているの効果や変化・成長を実感いただいています。数値で測るものがないため、明確にお示しができないのが残念です。例えば、過去に不登校や登校渋りで相談を受けた子どもたちのうち、現在、92%が一部時間の登校・別室や適応指導教室などを含む自分のスタイルで登校しています。私たちが、学校に行くように促したのではなく、私たちの支援の結果、子どもたち自身の力で行動したものです。これからも、学校生活や将来に向かう気持ちがよりよいものとなるよう計画の作成と支援に努めていきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた放課後等デイサービス計画の作成	昨年度と同じで、日々の一人ひとりの子どもたちの様子や発言をできるだけ記録し、職員全員で共有している。これらに加えて、学校等の関係機関からの情報・保護者からの情報や要望などを踏まえた目標設定に努めている。	85%・0%・0%・15% 年齢の違う友達との関わりのおかげか、やや自己中さが減った印象です。	・コメントいただきました書類については、直接保護者にお会いする機会が少ないため、半数の家庭で書類のやりとりがうまくいきません。また、ミスを防ぎ、業務を効率化するためにも電子化を進めています。いつもご協力いただきありがとうございます。
	3	放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定および具体的な支援内容の記載			
4	放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画はもとより、日々のうちあわせやふりかえりで、一人ひとりの課題や支援方法を職員間で確認し合い、子どもたちと向き合っている。	92%・0%・0%・8% 参加日は少ないですが細かな配慮ありがとうございます。	利用頻度により目標の達成への時間に違いはありますが、より変化や成長を実感でき、当事業所で過ごす時間が有意義となるよう、職員全員で情報を共有し、支援に努めています。引き続き、すべての子どもたちが当事業所に通所する意義を実感できるよう努めていきます。	
5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎日、支援終了後に1時間かけてふりかえりをおこない、一人ひとりの子どもたちの様子や発言と、実施したプログラムについて振り返り、さらなる充実をはかるべく、翌日以降の支援の検討をおこなっている。		昨年度と同じ表現で申し訳ありませんが、一人ひとりの子どもたちが変化や成長を実感でき、子どもたちも職員もワクワク・ドキドキできる日々になるよう、今後も努めます。	

6	平日・休日・長期休暇に応じたきめ細やかな支援	放課後は着実に仲間づくりとコミュニケーションスキルの向上と明日につながる活力になるよう支援をし、休日はライフスキルの獲得と日々培ったスキルを様々な場面へ般化する場ととらえ支援している。長期休暇中は普段できないことへの挑戦をしている。また、その後の学校生活にスムーズに移行できるよう様々な企画を提供している。		この成果が端的にあらわれたのが、今年の夏の取り組みが端的です。それまでに培った当事業所での友達関係で、活動内容そのものだけでなく、友達との関係を思いっきり楽しみ、思ったことが自信をもって言え、話し合いを進めました。夏休み中に適切に利用いただいた子どもたちは、2学期に例年以上にスムーズに入ることができ、とてもいい日々・状態です。そうでない場合には、支援計画に基づく支援ができるよう、適切に利用をいただけるように粘り強く支援をしていきます。
7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動プログラムについては、開業以来、コミュニケーショントレーニングについては、月単位で実施し、1か月間、同じ内容を継続し、確かなスキル獲得を目指してきた。逆に、イベント等を工夫し、日頃培った友達関係や様々なスキルを般化するとともに、新しいことに挑戦する楽しさを感じてもらえるよう取り組んできた。	92%・0%・8%・0% 直近で言うと夏休みの外出ですが、漠然としたプランで行動したけど帰ってきたら楽しかった！！が積み重なっていつている気がします。すごく興味がある事以外で友達の興味にも合わせられるよう、段々となってくれたらと思います。	・この方針は変わるものではなく、今後も、必要なスキルがリアルタイムに獲得できるよう計画作成と支援に努めていきます。 ・コメントいただいた外出がどの活動を指すものかは分かりませんが、活動によっては綿密に計画を立てて実施しているものもあります。毎月発行するニュースレターで子どもたちも期待感が持て、参加の有無や参加方法を選択できるように努めています。今後も、より分かりやすい支援に努めていきます。
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	確認の徹底は、最善の支援をおこなうためにも、職員の働き甲斐のためにも、絶対に必要なもので、あえて書くほどのことではないが、前日の終礼で具体的な内容や支援方法を検討し、当日の朝礼でその日の利用児童の詳細と活動の流れや職員の動きなどを検討・共有している。この情報はグーグルスプレッドシートにて職員全員で共有し、いつでも確認できるようにしている。パートタイムの職員についても出勤時に確認し、勤務のない日の出来事を業務日誌で確認するように促している。		特に変わるものではなく、引き続き、効率よく、かつ的確な情報共有ができるよう努めていきます。
9	支援終了後における職員間でその日おこなわれた支援の振り返りと気づいた点などの情報の共有	上記8と同様に、情報の共有は最善の支援をおこなうためにも、職員の働き甲斐のためにも必須のものとする。支援実施中もインカム（無線）やグループラインを適切に使用し、些細な情報も共有に努めているほか、支援終了後には毎日1時間かけてふりかえりをおこない、一人ひとりの子どもの活動内容や発言などを共有している。そのうえで気づきを共有し、支援のさらなる充実のための検討をしている。		この1時間をかけておこなう、一人ひとりの子どもたちのエピソードの共有を中心にしたふりかえり方法は当事業所らしさを生み出す源であり、大切にしたいものです。特に変わるものではありませんが、より充実したものをなるよう努めていきます。
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の記録は同時編集ができるグーグルドキュメントを利用し、より書きやすいものとなるよう、適宜見直し、改善を重ねている。また、インカム（無線）について、今春、会話した内容をテキストに変換し、保存できるものに変更するなど、より正確な記録に努めている。		グーグルドキュメントを利用することで過去の情報を検索しやすくなり、インカムのテキスト化によりヒヤリハットの検証がしやすく、より充実した支援や活動計画に生きています。これらを活用して、これからもよりよい支援と活動計画を努めていきます。
11	定期的なモニタリングの実施および放課後等デイサービス計画の見直し	適宜おこなっている。ニーズや課題の多くはソーシャルスキルに関わるものが多く、学校生活に般化されることが最終ゴールと考える。当事業所や家庭での変化だけではないため、次々目標や支援内容が変わる子どももいれば、大きく変わらない子どももいる。そのため、丁寧にニーズやそのときどきのリアルな声を大切に計画作成に心がけている。		引き続き、子どもたち自身が変化や成長を感じ、自信につながり、学校生活や将来に対して前向きにとらえることができるよう計画と支援の充実を努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
		職員による評価です	数字は左から順に はい・いいえ どちらともいえない・わからない コメントは原文そのまま掲載	保護者評価を踏まえ、 再度職員の話し合いにより設けた改善目標や今後の運営方針です	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	当事業所の利用児童の95%はセルフプランであり、相談支援事業所を通しての利用児童は5%です。彼らについてサービス担当者会議の必要があれば参加して連携をしていく用意があるが、現在、その必要性がないため、実施していない。		この項目に該当する事例はありませんが、学校やスクールソーシャルワーカー・教育委員会、医療、行政との連携はかなり密におこなっています。日々の利用状況の情報共有や、家庭も含めた支援の必要性の共有、学校等での指導の参考となる情報の共有を頻繁におこなっています。また、不登校児童（現在は登校できている）の出席認定もしてもらっています。これからも、保護者の求めに応じて、連携をおこない、支援のさらなる充実をはかっていきます。
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	当事業所は小学4年生以上を対象としているため、この項目には該当しない。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な就労移行のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	一昨年度の卒業生が利用する就労継続支援事業所の行事に参加することはありますが、今年度は左記の項目に該当する利用児童はいない。		

6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や専門機関での研修の受講の促進	上記「業務改善の3」と同様に、研修の機会があれば、機会の提供はしているが、今年度は左記機関からの案内がなかったため受講していない。		引き続き、研修等の機会があれば、情報提供をおこないます。
7	放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	当事業所では実施していないし、その必要性もないと考える。	23%・23%・23%・31%	当事業所は地域や様々な団体と年代を問わない交流を積極的におこなっています。それは障害の有無ではなく、いろいろな人に必要とされている「自己効力感」を高めるものであり、他者と関わることの楽しさを子どもたちに感じてもらうものであって、国および自治体が求める趣旨と異なるため、今後も左記の交流は実施しません。
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	夏のプロジェクトとして発表を商業施設でおこなったり、地元の行事と一緒に盛り上げたり、毎月恒例の里山活動で一緒した方々・団体と活動をともにしたり、外部講師を招いてミニ講演会を実施したり、多くの人と関わり、活動を実施した。		当事業所の支援方針を理解いただき、まだ見ぬ、学校がしんどく困っている子どもたちとつながるため、また、自然な交流ができるよう、様々な企画を実施していきます。あわせて、地域の行事や事業所説明会への参加、地域の情報誌や当事業所ホームページ等を通じた情報発信についても、引き続き、積極的に取り組んでいきます。

区分	チェック項目	現状評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
		職員による評価です	保護者の評価 数字は左から順に はい・いいえ どちらともいえない・わからない コメントは原文そのまま掲載		
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	開業当初から変わることなく、お問い合わせいただいたときと契約の際にお時間を頂戴して説明している。	92%・0%・0%・8%	引き続き、丁寧な説明に努めていきます。
	2	放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	将来の姿を思い浮かべながら、今やらなければいけないことと今できること等を説明しています。	92%・8%・0%・0%	引き続き、将来に対するイメージがふくらむような説明に努めていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	従前には変わるものではありませんが、当事業所は保護者の支援力向上そのものを目的とした支援はおこなっていない。しかし、思春期や障害特性・進路などの相談ごとについては丁寧に対応している。	38%・31%・8%・23%	ペアレントトレーニングについては今後もおこなう予定はありません。むしろ、子どもたちに寄り添う私たちがだからこそできる相談の充実をはかっていきます。
	4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	情報伝達や共通理解の方法については、過去に何度も改善をはかってきた。現在、支援の意図やその結果がそれなりにお伝えできていると思っている。	77%・0%・23%・0%	当事業所の支援は具体的な数値であらわすことができるものではないため、できるだけ子どもたちにもつわるエピソードを伝えることで、変化を感じていただけるよう取り組んでいます。これらに加えて、動画配信も始めます。どこまでお伝えできるかは分かりませんが、常によりよいものを目指していきます。
	5	保護者から子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	手前味噌ではあるが、伺った相談については適宜対応し、満足いただいているものと考えている。	39%・15%・31%・15%	引き続き、随時対応していきます。また、必要に応じて、学校や行政・医療などの関係機関とつなぎ、連携をおこなっていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナそのものや、コロナに伴い学校行事が集中したため、昨年11月に予定していた保護者会を含めた行事は、今年3月に延期し、実施した。このほかに、保護者や家族にも参加いただく行事や、保護者や家族が集まりやすくするために月に一度のオープンデイの設定など積極的に取り組んできた。	39%・23%・23%・15% 私が保護者イベントに出席できてないため	「いいえ」と多く回答いただいておりますが、実施しています。残念ながら、いつも参加いただく方が同じというのが現状です。オンラインでの設定等の工夫もしましたが、希望者はありませんでした。本事業で使える時間は学校ほど多くないため、これからは保護者に対してオープンにする行事よりも、地域に出て、様々な人と交流する活動を中心に据えていきます。何卒ご理解ください。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知および苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情か意見・要望等の区別なく受ける体制はあります。その日のうちに職員で把握し、必要があれば、関係機関に相談するなど適切に対応している。	85%・0%・0%・15%	左記のとおり、苦情・意見・要望、その他悩み・不安などありましたら、お電話・メール・ラインもしくは直接おかけがいがします。いつでも、おっしゃってください。
	8	障害のある子どもや保護者との意見の疎通や情報伝達のための配慮	昨年度と同じ表現で申し訳ありませんが、話をしたい場合には相談スペースを使ったり、送迎ルートを変更したりして、話しやすい雰囲気づくりをしている。	92%・0%・8%・0%	引き続き、少しでも多く子どもたち・保護者のニーズ・不安・悩み・愚痴などを聞けるよう、またそれらを日々の支援に反映できるよう努めていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定・連絡体制等の情報について子どもや保護者への発信	月に一度発行するニュースレターは、支援のねらいや様子を共有するとともに、次なる活動に期待が湧くよう、構成の見直しをおこなってきた。このほか、ブログでの発信に加え、しゃべってナンボのコミュトレの様子やにぎやかなスポレク等の様子を伝えるため動画配信を始める準備をしている。	100%・0%・0%・0%	昨年度も書いた表現ではありますが、現在の利用児童・家族だけでなく、まだ見ぬ、利用者・家族や、似た悩みを抱える子どもたちの励みとなるよう情報発信は大切なツールと考えています。動画配信は準備が出来次第おこないます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	過去の反省を踏まえ、請求書等の厳封・利用児童同士の連絡先交換の際の責任の所在の明文化・生理用品の取扱いなど、その都度、対応してきた。	84%・0%・8%・0%	過去におこなった様々な取り組みを評価いただいていると認識しています。引き続き、細心の注意を払って対応していきます。

区分	チェック項目	現状評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
		職員による評価です	保護者の評価 数字は左から順に はい・いいえ どちらともいえない・わからない コメントは原文そのまま掲載		
非常時等の	1	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	すべて作成し、職員はいつでも見られるよう事務スペースに綴じたものを置いています。また、来年4月に義務化される業務継続計画（BCP）も作成しています。	92%・0%・8%・0%	必要な措置を講じていることを簡単ではありますが、契約の際にお伝えしています。しかし、その性質上、すべてはお伝えしたり、公開したりできません。ご理解いただけますようお願いいたします。

	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難・救出その他必要な訓練の実施	今年1年間かけて、ただの訓練に終わらず、子どもたち自身が頭で考え、行動できるよう、「リアル避難ゲーム」として実施した。これは、療育中だけでなく、一人でいるときにも適切な対応ができることを目的におこなった。	100%・0%・0%・0%	引き続き、職員が子どもたちの避難途中の配慮の有無を把握するものと、子どもたちがいつくるかわからない災害に向き合う姿勢を育てるための訓練の2種類にわけて取り組んでいきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	一般的な内容の虐待防止研修だけでなく、「よりよい支援」を考えるための研修をおこなっている。あわせて、今年度より設置が義務化された虐待防止委員会も開き、万が一の疑わしき事案発生時の体制などの確認もしている。		昨年度と同じ表現で申し訳ありませんが、毎日の支援後におこなっているふりかえりは、子どもたちの活動状況についての情報共有だけでなく、職員の子どもへの関わり方についても話すことがあります。いつでも、職員間で話し合える雰囲気づくりに努め、今後も虐待のない事業所運営に努めていきます。
	4	やむを得ず身体拘束をおこなう場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での放課後等デイサービス計画への記載	上記の虐待防止と同様に、一般的な身体拘束についての研修だけでなく、「よりよい支援」を考えるための研修をおこなっている。		過去3年間にわたって、これを検討する必要ですらありませんでしたが、身体拘束の3原則（切迫性・非代替性・一時性）に触れ、その影響を考え、そういう事態につながることをないよう職員間で努めています。今後も変わりなく、よりよい支援を求めて取り組んでいきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在、これに該当する利用児童はいない。		今後、対応を求められたときには、従来どおり、利用児童と児童指導員の二重のチェックで事故が起きないように対応します。
	6	ヒヤリハット事例集の作成および事業所内での共有の徹底	今年度は2件の報告があった。1件は送迎中の出来事で迅速かつ適切に対応した。もう1件は療育中（サイクリング）の出来事で、前後の職員の動きを確認し、再発防止に努め、現在、様々な活動に生かされている。		これまでと同様に、該当する事例があれば、速やかに口頭と報告書により報告し、職員全員で共有し、事故の原因究明と再発防止に努めていきます。
区分		チェック項目	現状評価 職員による評価です	保護者の評価 数字は左から順に はい・いいえ どちらともいえない・わからない コメントは原文そのまま掲載	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 保護者評価を踏まえ、 再度職員の話し合いにより設けた改善目標や今後の運営方針です
満足度	1	利用者は通所を楽しみにしているか		85%・0%・15%・0% 本人が気に入っています。	・コメントの鏡については、賃貸物件のため取り外す等の対応ができませんが、適切な距離を取っているため、問題ないと考えます。申し出ただけであれば、個別に何に不安を抱いているかを聞き取り、必要な策を検討します。 ・回答ありがとうございました。当事業所は私たちが必要と考える支援やスキルについて、子どもたちがしっかり向き合い、取り組んでくれているため、全体を通して、表現が古くさいかもしれませんが、切磋琢磨し、非常に高まっています。当事業所ではジブンを出して楽しみ、学校のしんどさも上手に吐き出しているように見受けられます。しかし、当事業所の活動のなかだけでなく、学校や家庭を含む社会生活全般において、同じようにできることや、将来に向かって前向きに取り組めるようになることが最終ゴールと考えます。これらの変化を実感できる日まで、様々な支援・活動・企画を用意して、利用をお待ちしています。今後ともよろしく願います。
	2	事業所の支援に満足しているか		92%・0%・0%・8% ・本人が卓球するときに鏡にぶつかり壊さないか不安になる事があると書いておきます。 ・本人が楽しめ楽しく通所してもらえれば幸いです。	